

開講科目名	日本事情I B			
成績入力担当	實平 雅夫	開講区分		単位数
		第2クォーター		0.5単位
ナンバリングコード	R1JJ190	曜日・時限等	火2(対面)	時間割コード

授業のテーマ

授業のテーマ：日本文化と日本社会

授業の到達目標

日本文化と日本社会について画一的なものを見方を相対化できる。

授業の概要と計画

詳細はBEEF+にて指示する。シラバスは変更される可能性がある。最新情報は授業に出て確認すること。

<https://beefplus.center.kobe-u.ac.jp>

詳細は以下のとおり。

日本事情Iで得た基本的な知識を基礎として、現代日本の社会の仕組み、および、その成り立ちの考察を行うと共に、専門分野の学習・研究への適応能力の養成を図る。

戦後急激に変化を遂げた日本社会の中に潜在化している様々な問題点を観察・認識し、理解すると共に、国際社会において将来あるべき日本の姿を模索し、考察する。

授業のスケジュールは以下の通り。

第1回6/16 トピックを探す、調査方法

第2回6/23 調査、資料作成1

第3回6/30 リハーサル、フィードバック

第4回7/7 プレゼンテーション1

第5回7/14 プレゼンテーション2

第6回7/21 プレゼンテーション3

第7回7/28 期末試験

第8回8/4 振り返り、フィードバック

週1回 全8週

1科目15時間

成績評価方法

試験 60%

授業への参加度及び発表 40%

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF(不可)とする。

成績評価基準

日本文化と日本社会について画一的なものを見方を相対化できるか。

履修上の注意（関連科目情報）

本授業は、同教員が担当する第10日本事情ⅠAと連続で開講する授業科目のため、両方の授業を必ず履修すること。

本授業は上級レベルの日本語科目である。履修希望者は、中上級レベルの学習を終えているか、CIE-JTestのレベルが上級であること。2019年までのJ-CATの合計得点が271-320点であること。

交換留学生受講可：【留学生に求める能力】日本語に関する上級レベルの用語について日本語で理解できること。

日本事情に関する情報検索・資料作成のため教育のためパソコンを持参のこと。

事前・事後学修

各課の語彙の予習が求められる（プリントを配布）。また、復習として、課末問題シートが課される。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

火曜日 12:30-14:00（事前連絡要）

sanehira[AT]port.kobe-u.ac.jp 078-803-5276

※上記のアドレスの[AT]の部分をアットマーク@（半角）に置き換えた上で、宛先に入力。

学生へのメッセージ

授業外でも、日本人学生の集まりや、地域のホストファミリープログラムなどに参加し、交流を楽しんで下さい。

今年度の工夫

授業内外で日本人学生との協働学習の機会を設けます。

教科書

ハンドアウト

参考書・参考資料等

改訂版 トピックによる日本語総合演習 一テーマ探しから発表へー 上級 / 専修大学国際交流センター 監修 安藤節子・佐々木薫・赤木浩文・坂本まり子・田口典子 編著：スリーエーネットワーク, 2010, ISBN:9784883195237

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本事情、上級、日本語、パソコン、対面授業、交換留学生（特別聴講学生）可、授業への参加度、長文レポート